

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	八ヶ岳中信高原国定公園
2 施設名	中信高原線歩道
3 公園事業名	中信高原線歩道
4 整備箇所	長野県松本市入山辺
5 整備年度	平成22年度
6 新規整備・再整備	再整備
7 事業主体	松本市 商工観光部 観光温泉課
8 事業費	7,182,000円
9 交付金	3,231,000円
10 施設概要	歩道整備 延長5.2km (道標8基、注意標識2基、路面排水工30箇所、ロープ張工3箇所)
11 事例の解説 (特徴等)	長野県松本市美ヶ原高原は年間65万人が訪れ、特に初夏から秋の紅葉までのシーズン中は多くの来訪者で賑わう地域である。本事業箇所は、美ヶ原高原から続く登山道として、大変眺望も良く初心者でも気軽に利用することができるが、既存道標の老朽化が著しく、また、排水施設が未整備のため雨天時には歩道に地表流が発生する。 このため、利用者の安全性、利便性の向上を目的として、道標の設置や路面排水工、崩落地への注意喚起などを実施した。また、整備にあたっては、周辺の自然環境へ配慮したデザインとしたほか、県産材など自然素材の活用を積極的に行った。 歩道整備により、今後、多くの利用者が安全で快適に利用でき、地域全体の利用促進を図ることができた。
12 施設写真	 中信高原線歩道からの眺望  道標整備後  道標整備後  中信高原線歩道